

実践記録(小3・国語)

1 ねらい

タブレットPCに表示された絵文字にマーキングする活動を通して、自分や友達が紹介する絵文字の特長やよさに気づき、よりよい絵文字図鑑になるように構成メモに活かす。

2 活用したICTと場面

(1) 様々な色でマーキングすることで、絵文字の特長やよさに気付く。

タブレットPCに絵文字を表示させ、その絵文字を見ながら、友達と絵文字のよいところを探す活動を行った。絵文字のよさが分かるところを、タブレットPCでマーキングした。また、画面を保存することで、後から見返すことができるようにした。

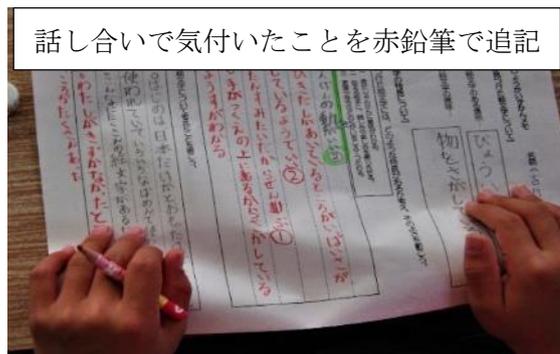
(2) 班の活動状況を一度に見ることができるようにして、考えを共有する。

それぞれの班がどのような活動を行っているのか、教師がすぐに確認できるように、班のタブレットPCの回線をつなげて活動を行った。また、意欲的に活動を行っている班を取り上げ、プロジェクターで映して紹介したり、別の班と比較したりすることで、より積極的な活動につながるようにした。



3 実践の様子

自分が見つけた絵文字を紹介する活動では、タブレットとタッチペンを手に、その絵文字のよいところだと思った部分をマーキングしながら発表を行った。発表を聞いた児童は、他に絵文字のよいところがないかを探し、発表者とは異なる色でマーキングした。全員の発表が終わると、マーキングした画面を再度表示させ、話し合いで気付いた絵文字のよさを構成メモに赤鉛筆で追記した。



4 成果と課題

- 全員の児童がタッチペンを使ってマーキングを行ったり、色を変えたりしたことで、それぞれが気付いたことを発表することができた。
- 発表が苦手な児童も、マーキングしながら相手に伝えることで、分かりやすく発表することができた。
- 印を付けるだけでなく、言葉も書き込んでよいことを事前に伝えておくと、より深い話し合いになった。